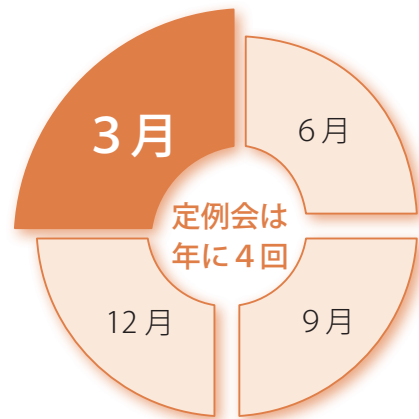




作品タイトル「春はもうすぐ」

作者／美濃部 綾奈さん(青森県立むつ工業高等学校 3年生 CG・イラスト愛好会)

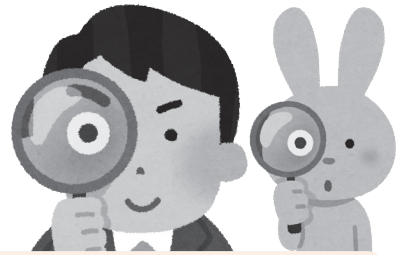


第 25 号
令和 5 年 4 月号

令和 5 年度予算 P 2
第 255 回(3 月)定例会議案審議 P 5
常任委員会活動報告 P 5
一般質問 P 7
議会報告会及び 市民との意見交換会 P 9
審議結果および賛否一覧 P10
お知らせ P11

令和5年度一般会計予算

405億200万円を可決！ (前年度比16億9,200万円増4.4%増)



第255回定例会が2月20日から3月15日までの24日間の日程で開催されました。今定例会では34議案(うち2件は議員提出議案)、3報告が上程され、全ての議案が可決・承認・同意されました。また、今定例会では令和5年度むつ市一般会計予算のほか、各特別会計予算や水道事業・下水道事業会計予算を審査する予算審査特別委員会(議長を除く21名の議員で構成)が設置され、多岐にわたる質疑が行われました。

令和5年度の主な事業 ※★は新規事業です

★子ども医療費給付事業

1億5,837万9千円

18歳までの全ての子どもの医療費を無償化することにより、次代を担う子どもの健康の保持増進とともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。

★地域文化・スポーツクラブ推進事業

1億5,989万2千円

市内中学校における部活動の現状を踏まえ、一人ひとりの充実した放課後活動等を確保するため、令和8年度からの学校部活動の完全地域移行に取り組む。令和5年度は、運営団体を立ち上げ、12クラブを地域に移行する。

デジタル防災センター整備事業

5,564万5千円

本庁舎開放エリア内に、デジタル技術を活用した災害対応拠点を整備する。令和5年度は、防災情報システムや会議システムの実施設計、開放エリア改修工事の実施設計を行う。

不妊治療費助成事業

160万円

不妊治療を行っている夫婦の経済的な負担軽減を図るため、不妊治療に要する保険適用後の費用の全額を助成する。

★保育施設におけるおむつ無償化事業

459万円

市内保育施設の0歳児クラスの子どもの対象に、保育施設内において使用するおむつとおしり拭きを無償で提供し、保護者の経済的負担の軽減と保育士の勤務環境の向上を図る。

(仮称)むつ市防災食育センター建設事業

6億3,848万7千円

学校給食施設を集約するとともに、災害時には避難場所へ食事を提供する(仮称)むつ市防災食育センターを建設する。令和5年度から令和6年度にかけては建設工事を行う。

金谷都市拠点地区

都市構造再編集集中支援事業 8,900万円

金谷公園を中心として一体的な回遊性のあるまちづくりを推進する。令和5年度は、金谷公園の駐車場、広場の整備や公園周辺における歩行空間の整備等を行う。

むつ市大畑町赤川地区復旧・復興事業

3,057万6千円

「むつ市大畑町赤川地区復旧・復興基本方針」に基づき、災害発生時における避難所機能の強化と地域コミュニティにおける共助の維持を図る。令和5年度は、赤川地区公民館の衛生設備等の改修工事を行う。

市民1人当たりの予算の使い道 合計 75万9,868円

(令和5年3月31日現在の人口53,325人)

議会費 市議会の活動経費 4,603円	総務費 一般的な管理事務、徴税、戸籍、選挙事務などの経費 70,476円	民生費 高齢者、障害福祉、子育て、生活保護などの経費 187,862円	衛生費 保健・環境衛生、ごみ・し尿処理などの経費 116,317円	農林水産業費 農・林・水産業の振興、生産基盤整備などの経費 14,338円	商工費 商工業、観光振興などの経費 14,608円
土木費 道路、河川、公園、住宅の管理や整備などの経費 64,263円	消防費 消防・防災活動、防災基盤の整備などの経費 50,055円	教育費 教育の充実、文化、スポーツ振興などの経費 65,486円	公債費 長期借入金の返済 81,554円	その他 労働者支援、下北医療センター、上下水道事業会計負担金などの経費 90,306円	

予算審査特別委員会

付託議案の主な質疑

◆一般会計予算

○歳出について

総務費（企画費）

問 地域おこし協力隊設置事業費が、令和4年度より増額になっている要因は何か。

答 協力隊インターン制度を新たに設けたもので、2週間から3か月程度、協力隊と一緒に活動してもらい、協力隊の応募者の裾野を広げることを目的としている。

問（仮称）下北地区統合校検討委員会の今後のスケジュールは。

答 令和4年度内に検討委員会を立ち上げる考えだったが、詳しい基本計画の説明が可能となる令和5年4月以降になる見通しで、年4回程度の開催を検討しているところである。

総務費（経営改善費）

問 文書管理システムを導入後、どの程度ペーパーレス化をするのか等の目標値があるのか。

答 電子決裁等で導入予定で、文書の削減率5%を目指して

おり、令和5年度中にシステムを構築し、令和6年度中に100%を目指している。

民生費（保育所費）

問 保育所等ICT化推進事業の目的等を伺う。

答 保護者との利便性の向上や、保育士等の負担軽減を図り、働きやすい環境を整備していくためのもので、ICTを活用した業務システムの導入・更新に係る費用の一部を補助するものであり、現在、市内16保育施設の内14施設で導入されていない。

問 保育施設送迎バス安全対策事業について、全ての送迎バスが対象となるのか。

答 市内では10保育施設で15台の送迎バスが配置されているが、本事業では保育園と幼稚園型を除く認定こども園4施設6台を対象とし、残りの施設のバスに関しては一時的な対応となる。

民生費（児童福祉総務費）

問 児童虐待防止対策支援事業の事業内容について。

答 児童の養育や児童虐待等に関する相談に応じており、必要に応じて児童相談所等と連携しながら支援を進めている。

民生費（障害福祉費）

問 地域活動支援センターの利用者数と需要への対応について。

答 現在2施設に補助金を交付している、昨年度の利用者数は合わせて6527名で、1日当たり約30名の利用となっており、施設を利用希望する方に沿った支援に努めていく。

民生費（老人福祉総務費）

問 高齢者向けデジタルデバイス対策事業を新規事業とする理由と目的は。

答 デジタルの恩恵を受けられない高齢者との間に、情報格差が広がっていることから、その解消を目的とした事業で、少人数制で教室を開催し、高齢者自身がスマホを操作して、防災情報等の必要な情報を取得できるようにすることを目指している。

衛生費（母子衛生費）

問 不妊治療費助成事業費の160万円の積算根拠は。

答 件数は、これまでの実績に保険適用による増加見込み分を加味している。1件当たりの金額は、一般不妊治療は1回当たりの金額、生殖補助医療は個人差があるため、先行して実施して

◎特別会計および企業会計の内訳

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	54億2,507万7,000円	5.1%減
後期高齢者医療特別会計	6億7,070万6,000円	6.3%増
介護保険特別会計	67億4,052万6,000円	0.2%増
公共用地取得事業特別会計	2,285万1,000円	0.4%減
魚市場事業特別会計	5,077万3,000円	5.7%増
水道事業会計	36億5,783万2,000円	13.5%増
下水道事業会計	22億4,135万8,000円	5.0%減

いる他自治体の状況を参考にし、積算している。

農林水産業費（鳥獣対策費）

問 ICT活用事業の内容は。

答 ドローンの活用事業として、令和4年度は実証事業により効果等を研究しており、来年度も引き続き効果を研究していく。

農林水産業費（林業総務費）

問 スマート林業推進事業の対象となるのは組合や団体、民間事業者等になるのか。

答 ドローンを使った現地調査等での活用の検討であり、基本的に市の業務の負担軽減に繋がるものである。

商工費(商工振興費)

問 デジタル地域通貨事業の計画の見通しは。

答 来年度は、運営主体、関係機関との調整等の地盤づくりの調査、研究を行い、令和6年度以降の導入を目指していく。

商工費(観光費)

問 観光DX・情報発信システム導入事業の詳細を伺う。

答 ーO-T技術を活用した発信機器、「スマートビュー」から観光施設を訪れた利用者のスマートフォンへの観光情報の通知や、リアルタイムな防災情報の発信など、施設を訪れる皆様の利便性の向上を目指している。

問 地域のにぎわい創出事業創設へ至った経緯と詳細について。

答 コロナ禍で、おしまこ流し踊りや大湊ねぶた祭等への参加が少なくなったことを踏まえて、浴衣を購入して貸し出すことをメインとした事業となる。

問 夢の平成号船台整備事業の詳細について。

答 陸上で保管する際の船台の更新で、腐食が著しく進んだことから、新しく船台1台を製作する事業である。

商工費(産業振興費)

問 むつ市のうまい直送便「M-ロジ」事業は、今年度と同様の事業計画になるのか。

答 今年度と同様に週2回、関東や関西方面等へ荷物を運び、帰りの便でも荷物を運んで、事業の収支バランスを取りながら展開していく。

消防費(常備消防費)

問 川内、脇野沢消防分署の移転・新設の詳細について。

答 両消防分署とも老朽化が進んでいることから、同時に建設することとした。理由は完成までのスピードが早くなることと、コスト削減が見込まれるためである。移転場所は交通アクセスが良く、津波の浸水区域の外側に選定する予定と伺っている。

消防費(防災対策費)

問 防災情報伝達手段整備事業のスケジュールと運用について。

答 来年度末までに工事が完了する予定である。運用については、特に変更等はないが、時報については、さらに検討していく。

問 まるごとまちごとハザードマップ事業の津波標識の設置スケジュールについて。

答 令和5年3月11日から設置を始め、今年度中に大畑地区で120か所等、合わせて約400か所に設置する予定で、令和6年度までの設置計画としている。

教育費(義務教育振興費)

問 新たにスクールサポートスタッフ配置事業を実施する理由と、5校のみに配置する理由は。

答 低学年の児童は、先生の支援が特に必要な状況であることから、先生の事務的な仕事をサポートするため配置するものがあり、児童数が多く、複数の学級を有する学校に配置することとしたものである。

問 児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業費が120万円増額になった理由は。

答 英語検定の挑戦への意欲を喚起するための受験料の半額補助による増額である。

教育費(学務管理費)

問 教職員勤怠管理実施事業を導入する経緯は。

答 教職員の働き方改革が叫ばれている中、国や県からも勤務時間を客観的に把握することが求められており、ICカード等

を用いて勤怠管理を実施する必要があることから導入するもので、市内の小中学校全てに導入予定である。

問 むつ市大学医学部就学助成金交付事業で、継続で5人、新規で1人となっているが、複数の申請があった場合は。

答 昨年は1人だったが、その前の2年は申請がなかった。それだけ医学部への進学は難しいことであり、まさか高校医学部進学特進コースと代々木ゼミナールと連携して、地域から医学部生を輩出できるように努めている。

教育費(地域文化・スポーツクラブ推進費)

問 来年度からの一部の部活動の地域移行に当たり、今考えられる課題はあるか。

答 例えばグラウンド等、暗い状態での練習環境が見受けられたので、簡易的なLEDライトの設置を予定している。その他、クラブ側から環境整備が必要との声があれば、しっかり受け止め検討していく。

○歳入について

市民税

問 増額しているが、経済は底打ちしたと認識しているのか。

答 新型コロナウイルス感染者数が減少してきていることから、経済が緩やかに回復傾向にあるとの県内のレポート等を勘案して、予算を増額し計上している。地方交付税

問 4億5100万円の増額だがその要因は。

答 国が制度を押し進めるにあたり措置された交付税の加算により、増えてきている。さらに来年度は、臨時再生対策債を大幅に減らし、普通交付税として措置されたことで増えている。

第255回定例会

令和5年2月20日～3月15日

議案審議での主な質疑

【議案第2号】むつ市手数料条例及びむつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

問 コンビニ交付の場合の手数料を減額する目的について。

答 市民の皆様が、市役所に来庁しなくても、全国に約

5万6000店舗、市内に31店舗あるコンビニエンスストアなどで、午前6時30分から午後11時まで各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスを促進することにより、市民の皆様の利便性の向上や、市役所窓口の混雑を緩和し、待ち時間の短縮を図ることで、さらなる市民サービスの向上を目的に減額することとした。

【議案第24号】令和5年度むつ市一般会計予算

問 令和5年度予算編成を終え、財政中期見通し2022への影響はどのように分析しているのか。

答 財政中期見通し2022については、算入すべき要素を最大限に見積もって算定しているため、その数値が大きく乖離することはないと見込んでいる。ただ一方で、電気料金等の値上がりによる影響が懸念されていることから、予算の執行管理を徹底するとともに、財政中期見通し2022に沿った財政運営、財政の健全化に心掛けていくことが肝要であると考えている。

問 子育て支援等について、精査

の段階で議案化等ができなかった事業、また今後財政が可能であれば必要と考える事業が現段階で何かあるか伺う。

答 令和5年度の新規事業として18歳までの子どもの医療費を無償化する事業や、保育施設での0歳児までのおむつの無償化事業等を実施することとしているが、今後も財源確保に努め、子育てに係る費用の無償化に段階的に取り組むことで、子どもを産み、育てやすい環境を作ってまいりたい。

【議案第32号】令和4年度むつ市一般会計補正予算

問 新型コロナウイルスワクチン接種事業について、説明の内容は、市民の皆様が円滑に接種できる体制を整えるためというところだが、具体的に説明願う。

答 令和5年3月8日に厚生労働大臣による新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施についての一部改正により、特例臨時接種の実施期間が令和5年3月31日から令和6年3月31日まで延長され、令和5年度当初から速やかに事業を開始する必要がある、接種を希望する全て

の方全員が少なくとも令和5年度内に接種できる体制を構築していきたいと考えている。また、令和5年度は、大規模接種は実施せず、医療機関での個別接種で実施する予定としており、現在希望する全ての方が接種できる接種枠を確保するため医療機関と調整している。

常任委員会

付託議案の主な質疑

【総務教育常任委員会】

○3月6日付託議案審査

付託された4議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第7号 むつ消防団条例の一部を改正する条例

問 報酬の額は全国一律なのか。

答 報酬の額については、国の基準は示されているがこれに縛られるものではなく、むつ市は国の基準と同額ではあるが、各自治体によって異なるものである。

問 活動実績のない団員には年額報酬を支給しないとなって

いるが、その活動実績の証明の方法は。

○ 団員の活動実績については、消防団日誌により、消防団長が確認することになってる。

問 報酬の額を上げる意図は。

○ 団員の苦勞に報い、団員本人の士気の向上や活動に対する家族等の理解を得るためおよび今後の団員確保のため。

○ 所管事務調査

・自治体DXのこれまでの市の取組及びその効果並びにデジタル地域通貨導入に係る今後のスケジュールについて

【産業建設常任委員会】

○ 3月6日付託議案審査

付託された9議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第8号 むつ市マリンハウス脇野沢条例を廃止する条例

問 廃止後の建物について。

○ 建物が青森県の漁港敷地にあるため、建物は解体、撤去するが、当該時期については、むつ市公共施設等総合管理計

画に基づき、計画的に実施する予定である。

議案第10号 財産の取得について(除雪グレーダ)

問 納期が遅れる可能性は。

○ 債務負担行為を設定し、入札を令和5年1月に行ったことにより、令和5年11月15日までに納入できる予定となっている。

問 市が所有する除雪グレーダについて。

○ 現在、むつ地区に1台、大畑地区に1台の計2台を所有しており、今回、新たに除雪グレーダを配備し、除雪体制の強化を図る。

【民生福祉常任委員会】

○ 3月6日付託議案審査

付託された4議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第3号 むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

問 衛生管理等の条文が改正された背景等について。

○ これまでも感染症等への対策については必要な措置を講ずることが努力義務として規定されていたが、これを研修及び訓練の定期実施に努めること等と改め、講ずるべき措置を明確化したものである。

議案第4号 むつ市乳幼児等医療費給付条例の一部を改正する条例

問 医療費拡充に踏み切った理由と財源について。

○ 財政健全化の取組の積み重ね等により、実施できる見込みがついたものであり、財源については一般財源、県補助金、電源立地地域対策交付金となっている。

議案第5号 むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 出産費用の支払方法及び出生産育児一時金の支給方法について。

○ 本人と医療機関との契約により市から医療機関に出産費用が直接支払われる方法と、本人が一度支払い、後日申請により出産育児一時金を支給する方法がある。

問 改正後の出産育児一時金で出産費用は大方賄えるのか。

○ 国民健康保険に関しては、あるが、50万円を超えた例は、令和3年度が2件、令和2年度が1件、令和元年度が4件となっている。

議案第21号 令和4年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算

問 増額補正は昨年の保険料率の引上げと関係はあるのか。

○ 青森県後期高齢者医療広域連合への納付金については、予算編成時期に概算により額が示され、この概算の額と精査された額との差が生じたことによる増額であると認識しており、保険料率の変更との関係については詳細な資料が示されていないことから、判断は難しい。

問 増額補正で一般会計への影響はあるか。

○ 納付金については、3月まで徴収する見込みの保険料を青森県後期高齢者医療広域連合に支出することとなるため、一般会計への影響はなく、被保険者の皆様への影響もないものと考えている。

ここが聞きたい！

一般質問

議会ホームページでは、
紹介できなかった質問内容や
本会議での質問のようす(音声)
を公開しています

一般質問のページは



こちらから↑

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。各種の行政課題を取り上げて2日間にわたり10人の議員が活発な論戦を展開しました。



公明・自由
住吉 年広

問

低出生体重児支援について。

リトルベビーハンドブックは、定められた様式がなく、全国で統一されていない。低出生体重児は高度な医療が必要となり、周産期母子医療センター等の市外の医療機関で生まれる場合が多いことや、出生後にハンドブックに記載された情報を医療、保健関係者で共有し、支援することを考慮すれば、県内で様式が統一されるのが望ましいと考えている。保護者には、子育て支援アプリ「母子モ」の活用について案内し、適切な支援に努めていく。

答

サーキュラーエコノミー(循環経済)について。

市では、むつ市総合経営計画に「循環型社会の推進」を掲げ取り組んでいるところであり、今後、更に3Rの「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の取組を進める過程の中で、サーキュラーエコノミーについても調査研究していく。



無党派
佐藤 武

問

海上自衛隊大湊弾薬整備補給所に新設される予定の大型弾薬庫と市民生活について。

令和5年2月9日に東北防衛局より電話連絡があり、翌10日の11時30分から45分まで、令和9年度までに保管に必要な火薬庫等の確保を目標として、国の令和5年度予算案に海上自衛隊大湊基地内に火薬庫2棟の新設及び火薬庫4棟を新設するための調査に係る経費として7億円を計上したとの説明があった。市としては、市民の不安を払拭するために自衛隊や防衛省が説明会等を行う場合、協力していく。

答

教育行政の現状と課題について。

ICT機器を用いることが主たる目的ではなく、アナログな方法とICT機器を活用することで一層豊かな学びに繋げ、組み合わせることによってそれぞれのスキルに応じた学びを実現できると考える。



無党派
杉浦 弘樹

問

スマート漁業に対する市の見解と現状の取組について。

IoT技術の活用で漁業のデジタル化を図り、労働の効率化や生産性の向上を目指すものであり、水産資源の持続的な利用と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上に繋げるものと認識している。現在は、青森県産業技術センター等が水温・潮流・流速・塩分濃度等の観測データをリアルタイムで提供し、スマートフォンでも確認できるようになっており、当地域でも一定程度進んでいるものと認識している。

答

総合福祉センターふれあいかんの利用促進策について。

令和5年度一般会計予算で公衆無線LAN整備や高齢者向けスマホ教室の実施を予定している。今後は、条例の趣旨に基づき、総合的に利用条件を検討していきたい。



未来への轍
村中 浩明

問 国道338号大湊II期バイパス事業について。

答 令和3年度末での事業の進捗率は約74%、用地取得の進捗率は約90%で、用地取得を完了した桜木町側の1工区を優先的に整備を進めると伺っている。

問 北の防人大湊について。

答 吉番館は旧海軍士官の官舎として、大湊における近代史の貴重な文化財であり、建築学的視点からも大変重要であると評価され、現在、枝払い、除雪等を実施し、建物内部の確認をしながら管理しており、今後の活用、在り方についても引き続き、研究していく。国の重要文化財の沈澄池堰堤は、令和4年度末の完了を目標として保存修理を進め、令和5年度からは新たな保存修理工事を予定している。今後においては日本遺産認定を一つの目標と見据え、北の防人大湊の更なる磨き上げを行う。



公明・自由
鎌田ちよ子

問 オーラルフレイル（口腔機能低下）対策について。

答 口腔機能を低下させないためには、自分の歯に関心を持つこと、歯周病やむし歯などで自分の歯を失わないように定期的に歯科検診を受けること、歯や口腔機能を保つためのケアを行うことが重要であり、乳幼児期から切れ目のない対策特に成人期以降のオーラルフレイル予防対策の推進が必要と認識している。各種事業を通じて口腔ケアの重要性について周知・啓発する。

問 HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）について。

答 従来のワクチンより感染予防効果が高い9価ワクチンが、令和5年4月から定期接種で使用できることとなったことから、キャッチアップ接種対象者など3回の接種を終えていない対象者に個別通知を行い、9価ワクチンの周知に努めたい。



自民クラブ
佐藤 広政

問 2022年度青森県学習状況調査結果についての教育長の所感を伺う。

答 県全体の通過率と比較して小学校でマイナス5ポイント、中学校でマイナス2ポイントであった。目標はプラス3ポイントであったが、本来の子どもたちの力に遠く及ばず、教育に携わる者の一人として子どもたちに対し、心より申し訳なく思っている。

この結果を受けて、主に2つの施策を実施している。1つは、学習状況調査を実施した当該学年の学力保障である。もう1つは、全ての学年の基礎・基本の定着強化である。今後、学校と教育委員会との共通認識のもと、むつ市の子どもたちの未来のために保護者の皆様方も協働し、一丸となって学力向上に取り組んでいく。



無党派
工藤 祥子

問 森林経営管理制度に係る脇野沢地区の森林所有者を対象にした意向調査について。

答 調査の結果は、「市に管理を委ねたい」が148名で66%、「自分で管理する」は18名で8%、「売却予定」は6名で3%、その他が51名で23%であった。意向調査で「市に管理を委ねたい」との回答があった方が所有する森林については、令和5年度に現地調査を実施し、市による管理の適格性について検討していく。

今後の計画としては、令和5年度は大畑地区の意向調査も予定しており、令和6年度以降は、これまでの結果を基に計画策定を進めていきたい。

問 森林経営管理制度に係る担当職員の体制を強化すべき。

答 林業の担当職員は、令和2年度は1名、令和3年度は2名、令和4年度は2名に加えて兼務の職員1名を配置した。



自民クラブ
濱田 栄子

問 新市政に引き継ぐべき主な交流事業について伺う。

答 会津若松市とは、昭和59年に姉妹都市盟約締結をしてい
る。令和6年度には姉妹都市盟
約締結40周年、令和7年度は斗
南藩立藩155周年の節目の
年を迎えることとなる。引き続
き関係機関、団体と連携を図り
ながら教育、文化、経済、観光
等相互の発展に寄与できるよ
う取り組む。

ポートエンジニアリングとは、
平成7年8月に姉妹都市盟約
を締結している。今後も交流事
業の充実に努め、グローバル社
会で活躍できる人材の育成に
取り組む。
台湾野柳地質公園との交流
については、下北ジオパーク推
進協議会との間において、平成
29年11月に「観光交流・学術交
流促進に関する協定書」を締結
している。それぞれの地域の状
況を考慮しながら、今後も交流
事業を展開していく。



市誠クラブ
東 健 而

問 GIGAスクール構想の進捗状況について。

答 タブレット端末の利用度につ
いては、GIGAスクール構
想のもと、小学6年生と中学3
年生は令和3年度から2年間
端末を活用し、利用状況につ
いては、授業での活用やオンライ
ン授業配信、家庭への持ち帰り
体制の整備が進み、令和4年度
の全国学力学習状況調査の質
問紙調査では、90%以上の児童
生徒がICT機器の活用は勉
強に役立つと答えており、教育
活動の充実に繋がっている。

プログラミング教育につ
いては、ICT機器の配備など更
なる充実に向けて学校の支援
に努めていく。
専門のスタッフによる指導
体制については、令和5年度か
ら教育委員会内に、デジタル教
育指導監の役職を新設、小中学
校への学習に関する支援を強
力に進めて行く。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 大型弾薬庫が大湊基地に整備される経緯等について伺う。

答 本年2月10日、東北防衛局よ
り「防衛力整備計画」において
弾薬を安全に保管するため、ま
た、部隊運用を継続的に実施す
るため、2027年度までに保
管に必要な火薬庫等の確保を
目標としており、国の令和5年
度予算案に、海上自衛隊大湊基
地内に火薬庫2棟の新設及び
火薬庫4棟を新設するための
調査に係る経費として、7億円
を計上したとの説明があった。

問 むつ市公共下水道整備の方
向転換について伺う。

答 令和5年度は新たな整備を
休止し、むつ市公共事業再評価
委員会に答申を求める決断を
した経緯については、財政負担
が極めて大きいことが挙げら
れる。今後さらに約370億円
の整備費が必要となる見込み
であり、これに伴う企業債の借
り入れ額は約250億円と試
算している。

第8回 むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会

第8回むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会については、令和5年1月25日発行の議会だよりにおいて、開催の様子を掲載しましたが、参加者の皆様からの意見・要望等の取りまとめやアンケートの集計が終わりましたので、その一部をご紹介します。 ※詳しい内容につきましては、むつ市議会HPをご覧ください。

【意見・要望等】

Q 起震車とか、地震を体験できる体験型の移動ができるような設備を派遣することができないか。
A 青森県に設置型の地震を体験できる場所がある。市では自主防災組織を進めているので、まずは、自主防災組織を結成していただき、その上で市の無料バスで体験しに行くなど、いろいろな手段があるので積極的に活用していただきたい。

【アンケート集計結果】 回答者 27名 / 参加者 30名 (回収率 90.0%)

Q 議会報告会の内容について 満足(11名) 少し満足(9名) 少し不満(2名) 不満(2名) 回答なし(3名)

Q 議会報告会の評価について 評価する(15名) 評価しない(1名) どちらともいえない(5名) 未記入(6名)

第 255 回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・承認・同意した議案等】

※『報』→報告、『議』→議員提出議案

議案	議案の名称	議決結果
1	むつ市個人情報の保護に関する法律施行条例	可決
2	むつ市手数料条例及びむつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
3	むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決
4	むつ市乳幼児等医療費給付条例の一部を改正する条例	可決
5	むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
6	むつ市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決
7	むつ市消防団条例の一部を改正する条例	可決
8	むつ市マリンハウス脇野沢条例を廃止する条例	可決
9	工事請負契約について (防災情報伝達手段整備工事)	可決
10	財産の取得について (除雪グレーダ)	可決
11	相互救済事業の委託について	可決
12	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合の規約の変更について	可決
13	市道路線の認定について	可決
14	市道路線の廃止について	可決
15	市道路線の変更について	可決
16	むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(納谷順子氏)	同意
17	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(永井信孝氏)	可決
18	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(石倉司氏)	可決
19	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(佐藤功子氏)	可決

議案	議案の名称	議決結果
20	令和4年度むつ市一般会計補正予算	可決
21	令和4年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
22	令和4年度むつ市水道事業会計補正予算	可決
23	令和4年度むつ市下水道事業会計補正予算	可決
24	令和5年度むつ市一般会計予算	可決
25	令和5年度むつ市国民健康保険特別会計予算	可決
26	令和5年度むつ市後期高齢者医療特別会計予算	可決
27	令和5年度むつ市介護保険特別会計予算	可決
28	令和5年度むつ市公共用地取得事業特別会計予算	可決
29	令和5年度むつ市魚市場事業特別会計予算	可決
30	令和5年度むつ市水道事業会計予算	可決
31	令和5年度むつ市下水道事業会計予算	可決
32	令和4年度むつ市一般会計補正予算	可決
報1	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和4年度むつ市一般会計補正予算)	承認
報2	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和4年度むつ市一般会計補正予算)	承認
報3	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和4年度むつ市一般会計補正予算)	承認
議1	むつ市議会の個人情報の保護に関する条例	可決
議2	むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決

※議決日は議会最終日の3月15日

(ただし、議案第2号、議案第16～20号、報告1～3号は2月28日、議案第24～31号は3月3日に議決)

★なお、各議員の会議への出欠状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



議員辞職のお知らせ

次のとおり、3名の議員から辞職願が議長へ提出され、議会において辞職が許可されましたので、お知らせいたします。

令和5年3月7日付け 原田 敏匡 議員

令和5年3月15日付け 山本 留義 議員、齊藤 孝昭 議員

TOPICS

要望活動の報告

要望項目 『「みらい」の存続と北極域研究船について』
要望先 国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)



森本 浩一 理事への要望活動

要望項目 『陸奥湾における掃海訓練の継続実施について』
要望先 海上自衛隊掃海隊群司令部



金刺 基幸 掃海隊群司令への要望活動

令和5年1月26日、佐々木隆徳副議長を团长とする7名の議員団は、川西副市長と、国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)および海上自衛隊掃海隊群司令部を訪問し、それぞれ『「みらい」の存続と北極域研究船について』『陸奥湾における掃海訓練の継続実施について』の要望書を提出しました。

次回定例会の予定 6月7日(水)～6月30日(金)

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6	7 議会運営委員会 本会議(開会日) 常任委員会	8 議会運営委員会 議案熟考	9 議案熟考	10
11	12 議案熟考	13 議案熟考	14 議案熟考	15 議案熟考	16 本会議(一般質問)	17
18	19 本会議(一般質問)	20 本会議(一般質問)	21 本会議(一般質問)	22 本会議 常任委員会	23 常任委員会	24
25	26 議事整理	27 議事整理	28 議事整理	29 議事整理	30 議会運営委員会 本会議(閉会日)	7/1

編集後記

新年度を迎え、市議会議員の任期も残り半年余りとなりました。

この度の第255回定例会は、むつ市長が6月に行われる県知事選挙へ出馬のため、議会開会中での辞職という異例の中で行われた定例会でありました。

この議会だよりが市民の皆様へ届く頃には、新たな市長が決まっていることと思いますが、新市長にはこれまでと同様に、市政発展へ向け全力で行政運営に努めていただきたいと思っています。

そして、これからもむつ市議会は、議会力向上のため活発な議論を行ってまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

(杉浦 弘樹)

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。
また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。

むつ市議会

検索



ホームページ

公式フェイスブック

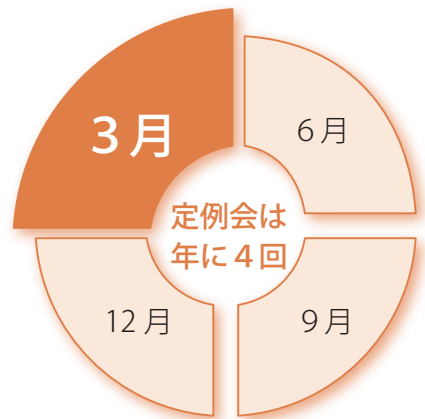


報
職
委
員
会

委員長 住吉 年広
副委員長 富岡 直哉
委員 杉浦 弘樹 野中 貴健
村中 浩明 濱田 栄子
佐藤 広政



令和5年3月3日 退職された宮下宗一郎前市長と市議会議員



令和5年度予算 …… P 2

第255回(3月)定例会議案審議 …… P 5

常任委員会活動報告 …… P 5

一般質問 …… P 7

議会報告会及び
市民との意見交換会 …… P 9

審議結果および賛否一覧 …… P10

お知らせ …… P11

第25号
令和5年4月号